

て)

C. 結果：私は追加の行動や対策を実行しなければならないか？

8. この事例は固有の問題か？あるいは他の労働者と共有する問題か？

[8] ARBONED（産業保健サービス機関）[Dr. Dorit Lademacher；December 20, Rotterdam, Dr. Lute Venema；12月22日, Utrecht]

ARBONEDは、オランダ第二の産業保健サービス機関であり、全国的な活動を展開している。産業医300-400人を含め、従業員2000人を雇用している。施設には運動耐用能試験用の自転車エルゴメーターなどを含めて健康診断に必要な設備が十分に整えられている。ARBONEDの健康診断部門は固有の施設で健康診断を行うだけでなく、企業において健康診断車両を用いて行うこともある。しかしながら、全地域に車両を保有しえないので、他の地域の事務所に問い合わせをしなければならないこともある。

ARBONEDは独自の区分により、従業員500名以上の会社はコーポレート部門、500人未満の会社はビジネスマーケット部門により産業保健サービスが提供されている。中小企業は労働者75名の企業と定義している。中小企業に対しては特別なサービスパッケージがあり、ARBONEDはビジネスマーケット部門において、約5名の産業医、約4名の経営管理専門家、1名のケースマネージャー、1名の労働専門家、1名の社会福祉専門家からなるGroup Practiceと称する産業保健サービスのための学際的チームを形成している。チームにおける産業医の主業務は、疾病休業者のリハビリテーションや職場復帰についての助言（診察）を与えること、いわゆる“Reintegration”（復職への調整）である。各産業医は1日に約10件の診察を行う。診察の後、産業医は経営者に電話や報告書にて当該労働者の個人的情報かつ／または医学的情報を提供する（労働者の承諾の上）。産業医たちは、その報告や電話を予防活動など産業保健活動の重要性を伝える非常によい機会と考えて、戦略的に活用している。

ARBONEDのアーネム地区事務所は、全体で6000労働者を雇用する1500社（ほとんどはビジネスサービス業種）と契約を結んでいる。ほとんどは従業員35人未満の小規模事業場である（なお、35人以上の労働者が在籍する場合、企業は労働者評議会のような労働者代表形態を組織しなければならない）。制限のある契約のため、ARBONEDは契約事業場のほぼ半数のみに実際の産業保健サービスを提供している。小規模事業場の産業医業務を好まない医師もいるため（なぜなら小規模企業の経営者はしばしば良好な作業環境に興味がなかったり、労働安全衛生やその方針に関わる情報が著しく不足したりしているため）、ビジネスマーケット部門では産業医の人手不足の問題が生じている。ロッテルダム事務所では、2人の産業医だけで2000社を担当している（この問題解決のため、近々3名の補充増員が予定されている）。

ARBONEDは小規模企業の経営者と面会する4つのルートを持っている。①経営者からARBONEDのスタッフに寄せられる質問。②Social medical team（疾病休業とリハビリテーションの個別事例についてのスタッフと経営者の定期的な討議の場）。ARBONEDでは、経営者は契約により、Social medical teamの討議に年に4回出席することが出来る。③ARBONEDは年2回、経営者を招いて教育的な情報提供の会議を持っている。④ARBONEDの専門家は各種業種組織の会議に出席することが出来る。③のルートについて、これまで会議やワークショップは、頻繁な疾病休業、職場での対立などのテーマを扱うものが中心であったが、2007年以降は、格別のテーマを設けない自由討論のみでの会議の開催も計画されている。

その他のARBONEDのサービスとしては、主に製造業においてARBONEDのスタッフによるリスクアセスメントの実施や認証が行われており、問題点が存在した場合は、ARBONEDは状況を改善するための対策を提案している。さらにARBONEDはいくつかの特別サービスパッケージを提供している。

- ・ Arts of Bedrijf：企業は基本料金のみを支払い、産業医によるサービスのみが提供される（主たる業務は事例管理である）。
- ・ Doctor Max：基本料金無し。ただし実際に提供されたサービスに対して時給の形で支払いがある。このパッケージは産業医による予期せぬトラブルへの即時対応が含まれ、実際はやや高価になる。

またパッケージではないが、MedRecht という特別部門には登録された調停専門家が勤務しており、その業務は複雑な対立状況の解決のための企業支援で、法的な助言も提供される。

ARBONED は産業保健サービスの質の維持及び向上のために多くのガイドラインを適用している。ARBONED は顧客や依頼者からの ARBONED のサービス評価についての情報収集に大変熱心である。これらの情報は質問票により収集され、最近の満足度平均値は 10 点満点で 7.3 である。

[9] REANED（産業保健サービス機関）[Dr. Marielle A-Tjak；12 月 22 日，Amsterdam]

Marielle A-Tjak 医師は REANED の経営者である。彼女は 2000-2004 年のオランダ産業医学協会の会長であった。REANED は 12 名の産業医と 20 名前後の労働専門家を含む 40 名のスタッフを抱える小規模の産業保健サービス機関である。オランダの労働専門家は、機能障害のある労働者のための労働調整を担い、また国の助成制度や社会制度に関わる法規についての知識を有する専門家である。REANED の顧客は小規模事業場のみならず大企業も含まれている。REANED は経営者および労働者により実行される産業保健活動を支援している（REANED の方針によれば、経営者は常に産業保健活動の責任を負うべきである；REANED はこの方針を「我々は解決のために追加される」と呼んでいる）。REANED はこの方針に賛同した企業とのみ契約を結び、REANED はその企業固有の建物に産業保健活動に必要な施設を準備するよう依頼している。それ

ゆえ、企業で健康診断が実施される際には、その施設で産業医自身が各労働者を診察することが可能となっている（大規模の産業保健サービス機関は健康診断には他の医師が従事することが多い）。REANED はアイントーベンに事務所を持っているが、そのビルにはカウンセリングルームや健診施設は整えられていない。

REANED は、経営者や労働者の依頼に応じてトレーニングや産業保健問題への対策助言などのサービスを提供している（大規模産業保健サービス機関のような標準サービスパッケージは備えていない）。問題や質問が企業からあがってこない時は、REANED は契約に基づき、経営者や企業の労働者評議会（35 人以上の労働者を有する企業に法的に義務付けられている）の代表と、産業保健に関わる状況の討論や産業保健に関する新しい情報提供（例えば、新たな法律、REANED の新しいサービスなど）のために年 2 回の面会の機会を調整している。

経営者や中間管理職向けのトレーニングプログラムは彼らの主要サービスの一つである。トレーニングは、健康や安全のリスクの評価や職場の争いの管理および一般的な疾病休業管理などに関する管理者の技術を向上させることを目的としている（つまり、REANED はそれ自身を不必要なものにしようとしていると言える）。

REANED は通常、顧客の要求に対して素早く柔軟な反応を返すよう心がけている。そのような素早い反応のため、各企業には REANED の第一対応者の情報が提供されている。いくつかの事例では、REANED の産業医は就業時間外でさえ企業を訪問している。他の産業保健サービス機関と比較してやや小さな REANED の規模と厳しい専門家の選別がそのようなサービス提供を可能にしていると考えられる。

さらに REANED は専門的知識のレベル向上に取り組んでいる。REANED はその哲学や顧客へのアプローチ方法を共有できる有資格の産業医のみを雇用しており、所属産業医は自分たちの業務調整に高い裁量を有している。REANED は産業医の教育（発表技術、新法規制度への知識など）

に積極的であり、1ヶ月に1回、最近の産業保健の論点についての検討会を催している。彼らはまた ICT（inter-colleagual testing；同僚間の鑑定）も活用している。他の形として、オランダ全土に分散する企業と契約を結んだ REANED の産業医たちも2-3ヶ月に1回、そのサービスの維持と改善のために検討会を催している。REANED は産業医の実践トレーニングの公認機関として社会医学の登録団体により認証されており、トレーニング実践の企画においては NSPOH と協力している。

【備考】

労働者評議会は企業内に労働者により構成される法的な代表者団体である。そのメンバーは選挙によって全職員から選ばれる。労働者評議会は経営者に対して、衛生と安全の問題を含む企業と関わる事柄について助言を行う。産業保健サービス機関の選定のような特別な論点について、労働者評議会は経営者の決定に同意を示さなければならない。

